

中小企業地域資源
活用促進法に基づく

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



ふるさと名物

Furusato Meibutsu

大阪府 和泉市
が応援するふるさと名物

～ 職人の技が光る地場産品 ～
人造真珠製品・ガラス細工製品・
ガラス玉製品・木綿製品





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

令和2年9月30日

地域の
プロフィール



大阪府 和泉市

和泉市は、大阪府の南部に位置し、人口は約18万人、面積は84,98km²の、南北に広がる都市です。

歴史は長く、弥生時代の集落跡として全国有数の規模を誇る池上曽根遺跡があり、かつては「いすみの国」として栄えました。

アクセスは良く、関西空港や大阪都心からわずか30分程の好立地にあります。

また、市内には大型商業施設もあり、都会でありながら昔ながらの里山風景も残っている「トカイナカ」な街です。



主な地域資源とふるさと名物の内容

主な地域資源

人造真珠硝子細貨

ふるさと名物

人造真珠製品

いずみパール

明治末期、貿易商である大井徳次郎氏がフランス製品を入手し、その研究をした結果、和泉で製造が盛んであったガラス玉に、太刀魚のウロコを塗装をする方法を採用したことに始まるといわれています。

大正時代末期には、海外への輸出が多くなり、和泉市の重要な地場産業として定着しました。

現在は、ガラスやプラスチック、養殖真珠と同じ貝核等の原玉に、真珠質の塗料を何層も塗装する独自の技術により作られています。

時代とともに職人の技術はさらに磨かれ、市内には国内の人造真珠生産業者の7割が集中しています。

いずみパールから放たれる光沢は、本真珠とほとんど見分けがつかないほど高度なものであり、汗や汚れにも強く変色しにくいいため、世代を問わず、フォーマルやカジュアルなどあらゆるファッションに取り入れられています。



主な地域資源とふるさと名物の内容

主な地域資源

ガラス工芸品

ふるさと名物

ガラス細工製品

いずみガラス

明治時代、ガラス職人である神山喜代松氏が、ガラスの色玉を手掛けたことから始まったといわれています。

その後、色ガラス棒のガラス生地 of 製造も始まり、大正時代には、ガラス細工品は輸出産業として発達し、ガラス生地 of 製造が盛んに行われました。

現在は、ランプワークという技法を用いて、様々な色のガラス棒の先端を石油バーナーの火力で溶かし、動物や宝船などの置物やガラス玉、アクセサリーなどが作られています。

熟練した技術をもつ職人が手で加工することによって、和泉市の伝統産業として、今なお、引き継がれています。

いずみガラスの作品は、長年の経験により研ぎ澄まされた感覚から、一つひとつ心を込めて作り出されており、ガラスでありながら暖かみがあることが特徴であることから、希少価値が高く、多くの愛好家の支持を得ています。



主な地域資源とふるさと名物の内容

主な地域資源

ガラス工芸品

ふるさと名物

ガラス玉製品

和泉蜻蛉玉

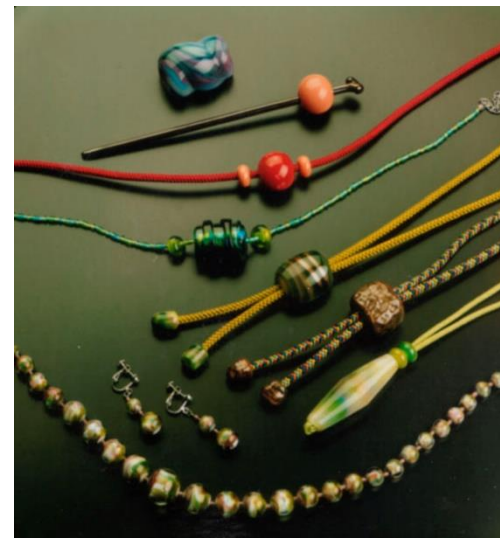


いずみの国（現在の堺市以南）では、奈良時代以前よりガラス玉が作られており、江戸時代には、泉州玉・さかとんぼと呼ばれ、全国的に有名でありました。

明治時代には製造技術が確立し、その歴史的技術を山月工房 先代 小溝時春氏が継承しました。

現在は、長女の松田有利子氏が継承し、国宝復元、文化財修復などを手掛けています。

和泉蜻蛉玉は、伝統に特化した独自のガラス材料を使用しており、地域の伝統に特化した独自の技術により作られた蜻蛉玉（ガラス玉）として、大阪府伝統工芸品指定を受けております。



主な地域資源とふるさと名物の内容

主な地域資源

紡績

ふるさと名物

木綿製品

和泉木綿

室町時代、綿の栽培を行い、その綿を手紡・手織りしたことから始まるといわれています。

その後、綿作の技術が和泉で普及し、江戸時代には、「和泉木綿」の名で広く日本国中に知れわたり、国内の中心的な綿業地帯を形成するに至りました。

以来、繊維産業の四大産地の一つとして、発展してきました。

現在は、海外市場への輸出や国内需要に対する素材供給基地としても、大きく発展を遂げています。

和泉木綿の製品には、衣料用織物を始め、工業資材用織物、衛生素材用織物などの多岐多様な品種があります。

伝統技法を継承しながら、木綿のやさしさ、注染の深みのある光沢とともに、商品に活かされています。



市町村の取り組み

1

独自の支援策

○和泉市では、地場産業の活性化を図り、地域経済の振興と発展に寄与することを目的とし、地場産業組合に対して補助金を交付し、商品の開発や販路開拓などの支援を行っています。

○特許権や商標権などの工業所有権の申請に要した費用に対して、補助金を交付し、経営基盤や技術競争力の強化を図っています。

○「人造真珠製品」を始めとする地場産品の返礼品を核とした「ふるさと納税」を活用し、地場産業の支援を行っています。

2

広報

○和泉市では、様々な媒体、機会を通じて、「人造真珠製品」「ガラス細工製品」「ガラス玉製品」「木綿製品」のP R、情報発信を行います。

- ・市H Pでの情報発信
- ・プレスリリースでの情報発信
- ・市が主催、共催するイベントでの製品の展示、販売
- ・製品が展示、販売されるイベントの情報発信